

今こそ大切に伝え残したい聖徳太子の御心

予約受付中

発売予定令和4年2月末日



※写真はイメージにつき、実物とは異なります。

■申込方法 / 「注文ハガキ」をご利用
ください。(切手不要)

■支払方法 / 納品後の後払い
(郵便局振替用紙)

定価 20,000円 ※価格は税別・送料別

分売不可・CD専用美麗ケース付

特別付録

大西良慶和上

御染筆色紙(複製)

「篤敬三宝」

(篤く三宝を敬え)



三宝とは、三つの宝という意味で、仏と法と僧、つまりさとりを開いた人(仏)と、その教え(法)と、それを奉ずる教団(僧)をいいます。又、仏さとりを開いた教えの主、法(その教えの内容)、僧(その教えをうけて修行する集団)の三つを宝にたとえた言葉でもあります。そして、これは仏教を構成する三つの大切な要素で、篤く三宝を敬え、三宝に帰依することは仏教徒としてのもっとも基本的な条件なのであります。

音源テープ・色紙提供 中村啓識前住職・中村賢識住職(真言宗豊山派徳聖寺)
監修協力 北法相宗清水寺 貫主・森 清範 / 執事長・大西真興

お申し込み・お問い合わせ 仏教図書出版 USS出版 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-50-1
Tel.0120-482-471 Fax.0120-482-472 USS出版

—聖徳太子の信仰と十七条憲法の精神—



「奉賛聖徳太子」より抜粋(昭和45年4月1日撮)

推薦 森 清範 (北法相宗清水寺貫主)
大西 真興 (北法相宗清水寺執事長)

監修協力 北法相宗 清水寺

大西良慶和上
が語る

新版

奉賛聖徳太子

CD全3巻
新版全1巻

聖徳太子一四〇〇年御遠忌記念

申込書	大西良慶和上が語る 新版 奉賛聖徳太子 CD全3巻 新版全1巻 全巻()セット を申し込みます。	御住所 <input type="text"/>
		御寺院名 (団体名)
		御住職名 (御芳名)
		TEL
		FAX

FAX 0120-482-472 / TEL 0120-482-471

ご購入後、このまま FAX 送信可能です。同封のハガキ及びホームページのお問い合わせフォームからもご予約いただけます。

推薦のことば

北法相宗清水寺貫主

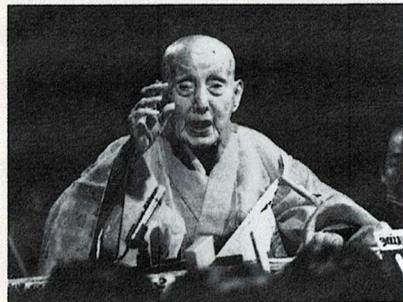
森 清範



先師大西良慶和上の聖徳太子信仰

先師大西良慶和上は明治八年（一八七五）のお生まれであります。明治維新の廃仏毀釈を目の当たりにされながら成長され、一時は廃寺同然となった興福寺に入寺して復興を担われたのであります。その仏教修学にあたっては法隆寺に開設されました勸学院第一期生として入学し、高等科を特待短縮修了され二十五歳にして興福寺住職となられております。

この修学の間良慶和上は聖徳太子の『法華経』講経をはじめとする高い学



(写真提供/夏利堂)

御遠忌法要に深甚なる真心を込め慶讃文を奉読されていることでも明らかであります。

この度、聖徳太子千四百年御遠忌の良辰に「大西良慶和上が語る奉賛聖徳太子」が制作されますことは誠に喜ばしく時宜にかなっております。良慶和上が時空を超えて語る太子信仰の言葉と観音菩薩篤信の心を親しく聴聞していただければと存じます。



中興堂(写真提供/夏利堂)

大西 良慶 おおにし・りょうけい【1875年-1983年】

略 歴

北法相宗耆長。奈良県生まれ。俗名大西広次。郡山(こおりやま)中学で学んで、1889年(明治22)法相宗大本山の興福寺へ入寺。法隆寺勸学院で法相宗「唯識(ゆいしき)学」を学ぶ。1900年興福寺住職、権僧正に昇格、1905年法相宗管長。1914年(大正3)から京都の清水(きよみず)寺住職兼務、1943年(昭和18)から清水寺住職に専念する。

1965年唯識の学風を高めるため、清水寺を本山とする北法相宗を創設。1954年宗教者、科学者約300人と京都仏教徒会議を結成して理事長を務める。

1962年日本宗教者平和協議会会長に就任。老人福祉にも尽力し、1921年には京都で初の老人ホーム(養老院同和園)を設立し、

明治、大正、昭和と1世紀にわたる生涯を仏教の興隆に尽くし、世界平和と老人福祉に情熱を燃やした。1976年朝日社会福祉賞を受賞。1983年2月15日没。

(コトバンクより抜粋)



聖徳太子孝養像(清水寺)
「奉賛聖徳太子」より抜粋
(昭和45年4月1日)

CD第一巻 収録内容抜粋

どなたさまもおはようございます。ご苦労様です。今ご挨拶いただきましたようにね、来年はね、聖徳太子の1350年になるの、私も、お太子さんの信者なの。ですから1300年の時には法隆寺で勤めさせてもらい、今度は、その職長(しなが)の御廟のあるお寺に關係が出来たの……

お太子さんのことを日本人が知らんの、それでは、まあひとつ御奉公、最後の御奉公にお太子さんのことを皆さんに聞いて頂こうと、こういう発願をしました。それであ、地元から近所やご縁のある所をちよいちよいやつていましたね。それが気になるの、それで今度はもう来られるか来れないか、この後はわからんよつてに、お太子さんの話をひとつ皆さんに伝えてね、それが来たい気持ちになったの。……

日本だね、一番偉いお方は誰やというたら、明治天皇様とお太子様が一番偉いの。明治天皇さんと聖徳太子さんが一番偉いの、日本国中で2500年の歴史の中に、偉い人は二人あるの、明治天皇さんの偉いところは、皆さん知っていらはる、まあ今の言葉に直したらね、革新系やの保守系やないの、革新系なの。明治天皇さんも革新派なの、お太子さんも革新派なの、私も革新派なの。そうて、私なんか余計有難がるの、それは何でかというたら、300年のパルル政治がね、こは幕府側方だったね元はね、300年の幕府政治を潰して天皇政治に明治維新になったの、それが明治天皇が300年の習慣を破るちゆうことはね、よつぽど偉い革新派でなければそれは出来ないの。それはまあ長い話やね、……



(写真提供/夏利堂)

CD全3巻

- ・第1巻「聖徳太子の信仰と十七条憲法の精神」① 約59分
- ・第2巻「聖徳太子の信仰と十七条憲法の精神」② 約70分
- ・第3巻「お盆の話」「生きる力」約30分

新版 全1巻(212頁 変形B6判)

『新版・奉賛聖徳太子』大西良慶和上著 北法相宗宗務所発行

1970年(昭和45年11月1日)初版刊行

2022年(令和4年2月22日)新版刊行

収録内容